

(3) 水産業の振興

◆基本方針

安心して漁業が出来るよう、基盤整備や機能保全といった漁港・漁場施設の整備促進に努めるとともに、増養殖の推進によるつくり育てる漁業に取り組む。新規就業者を獲得するため、複合経営など安定した所得の確保や、ベテランから若者への漁法・技術の伝承に取り組む。



◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
漁家数	60件	43件
漁業者数	100人	72人

(4) 商工業の振興

◆基本方針

町内事業者の約9割を超える小規模事業者を含めた事業所数の減少を抑えるため、マルぶな等経営安定化を支える融資制度の維持や、設備投資・雇用奨励といった新規事業および起業支援、生産性向上に向けた支援、資格取得等人材育成に対する支援を始めとした各種支援により、事業者の経営基盤強化に努める。

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
事業所数	350事業所	330事業所

(5) 企業の誘致および起業支援の充実

◆基本方針

秋田県企業誘致推進協議会が行う、首都圏等リッチセミナー（東京・名古屋・大阪で開催）および能代市山本郡1市3町で開催している「能代山本関東圏懇談会」に参加し、企業との情報交換を通じ、町単独にこだわらず、能代山本圏域内への誘致活動もあわせて実施することにより、町民の雇用創出につなげる。

(6) 観光と物産の振興

◆基本方針

世界自然遺産白神山地や周辺地域の保護保全を図る一方、恵まれた自然環境の維持と観光資源の保全に取り組む。また、能代山本管内の広域観光連携を進める地域連携 DMO 組織「一般社団法人あきた白神ツーリズム」を中心に、町内団体や県の各種機関を始め、環白神エコツーリズム推進協議会の構成自治体である秋田・青森両県の白神山地周辺自治体等とも連携し、訪日外国人観光客の誘致を含めた広域観光の振興に努める。



第2次八峰町総合振興計画 後期基本計画目標

PART 3

～未来につながる活力ある産業づくり～



第2次八峰町総合振興計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間としており、このたび令和3年度からの後期基本計画を策定しました。

計画には、6つの基本目標が設定されており、これらを実現することで町の将来像「白神の自然と人との創るやすらぎのまち」を目指します。ここでは前期基本計画の実績と比較しながら、後期基本計画の目標について、紹介していきます。今回は、「未来につながる活力ある産業づくり」です。

6つの基本目標

- ①豊かな自然と共生するまちづくり
- ②快適で安全な暮らしを支えるまちづくり
- ③未来につながる活力ある産業づくり
- ④安心して健やかに暮らせるやすらぎのまちづくり
- ⑤彩り豊かな文化とふるさとをささえる人づくり
- ⑥町民とつくるパートナーシップのまちづくり

基本目標	施策
未来につながる活力ある産業づくり	(1) 農業の振興
	(2) 林業の振興
	(3) 水産業の振興
	(4) 商工業の振興
	(5) 企業の誘致および企業支援の充実
	(6) 観光と物産の振興

(1) 農業の振興

◆基本方針

農業振興においては、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を進めるため、「人・農地プラン」において、地域の中心経営体に位置付けられた担い手への農地集積・集約化を加速させるとともに、生産性向上や規模拡大等により農業経営の安定化を推進させるため、ほ場の大区画化等基盤整備に着手する。



◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
認定農業者	250人	300人
担い手農家への農地集積率	74.4%	80.0%

(2) 林業の振興

◆基本方針

維持管理作業などの生産コストの低減を図るため林道や林業専用道、森林管理道（作業道）の整備を推進し、伐期を迎え、主伐を行った人工林については再造林を推進するとともに、保安林などの多面的機能を活用して、本町の自然豊かな景観を守る。

◆施策の成果目標

指標名	R 元年実績	R7年目標
林間伐面積	62ha	150ha
杉素材生産量	6,680m ³	10,000m ³